

現状を探る

順調に発展し、住みよさでも高い評価を得ている福津市。果たして人口減少の影は忍び寄っていないのでしょうか。問題点を把握するには、生活者の声を聞く必要があります。駅前商店街で老舗菓子店を営む井原美保子さん、緑町区自治会長の田原義郎さん、藍の家保存会代表の柴田富美子さん、神興地域郷づくり推進協議会長の八田作雄さんの4人に話し合っていました。

交通の便が悪くなった途端

田原さん 私の家の真裏ですが、とてもひどい空き家があります。しかも通学路沿いです。屋根は落ち、壁は崩れ、柱も倒れてしまった状態でした。行政は空き家条例に基づき、持ち主に警告などをしてくれるものの、なかなか解決できませんでした。たまたま不動産屋が目をつけて、売却、解体と話が進み、ようやく解消しましたが、このような空き家が最近では目立つようになりました。



▲田原さんの家の裏にあった空き家。瓦や壁が飛ばないように網で覆っていました



▲福間駅近くのシャッターを閉めたままの店



▲東福間駅のすぐ近くには金融機関がありました。今ではコンビニエンスストアになっています



▲海岸沿いを走っていた西鉄電車。2007年に津屋崎駅から新宮駅間が廃止になりました



商店街の移り変わりを長年にわたり見てきた井原 美保子さん

根は落ち、壁は崩れ、柱も倒れてしまった状態でした。行政は空き家条例に基づき、持ち主に警告などをしてくれるものの、なかなか解決できませんでした。たまたま不動産屋が目をつけて、売却、解体と話が進み、ようやく解消しましたが、このような空き家が最近では目立つようになりました。



放置空き家に十数年間も苦しめられたと語る田原 義郎さん

井原さん 商店街も同様でシャッターも少なくなりました。前に西鉄電車が廃線になって、訪れる人が激減しました。以前は沿線の新宮町や古賀市、福岡市東区からも、たくさん人が来てくれたのですが、交通の便が悪くなった途端です。

若い人もいなくなっている

田原さん 緑町の商店街は、もうなくなってしまうかもしれません。



神興周辺の衰退を感じ、盛り上げようとする八田 作雄さん

八田さん 私が住む団地でも高齢化が進み、若い人も出ていくものから、金融機関などが撤退し、生活が不便になりました。でも明るい地域にしようとして、竹灯祭りを始めました。地域のきずなも深まりますし、よそから人も来ますから。



昭和30年代の津屋崎千軒のにぎわいを知る柴田 富美子さん

柴田さん 私のところも地域の若い人たちがの力も大事です。それがなくなってきたり上げられたので、県外からも一過性かもしれませんが。

数 データで見る福津市

その2

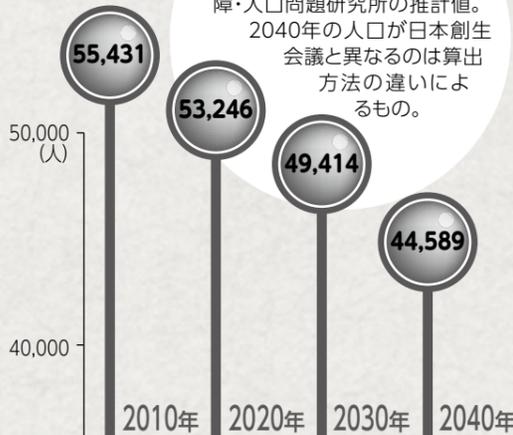
昨年5月、一つの推計人口が公表され、全国の市町村に衝撃を与えました。2040年時点での人口を全国1800市区町村別にまとめ、約50%にあたる896市町村を「将来的には消滅の恐れがある」と予測した、日本創生会議による市区町村別将来推計人口です。福津市がどのように予測されているか紹介します。

	2010年		2040年		若年女性人口変化率 2010→2040
	総人口	20~39歳女性	総人口	20~39歳女性	
福津市	55,431	6,337	44,053	3,542	-44.1
宗像市	95,501	11,930	83,619	7,664	-35.8
古賀市	57,920	7,608	56,833	5,591	-26.5
宮若市	30,081	3,198	22,389	2,071	-35.2

同会議は、地方から都市への人口移動が収束しないと仮定する中で、出産の95%を占める20歳から39歳までの若年女性の減少率に着目しています。その上で、2040年時点で若年女性が2010年と比べて50%以上減少する市町村は、消滅する可能性がある「消滅可能性都市」としています。福津市は「消滅可能性都市」ではありません。しかし、若年女性の減少率は50%以上ではないものの44.1%もあり、人口も1万人以上が減るという結果です。隣接する市の中では最も厳しい結果です。※駅東地区の最近の動向などを反映した展望を持つべく、福津市は人口ビジョンを現在策定中です。

福津市の今後の見通し

※2010年は国勢調査値。2020年以降は国立社会保障・人口問題研究所の推計値。2040年の人口が日本創生会議と異なるのは算出方法の違いによるもの。



特集 あした天気になあれ



数 福津市の懐勘定



今後5年間の財政状況を予測した、昨年11月に作成の福津市中期財政見通しの一部を紹介します。



終始、和やかな雰囲気で行った座談会。日頃感じていることなどを話し、4人はすぐに打ち解けました